

令和6年度 児童生徒体力づくり推進計画書（小学校用）  
～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 越前町立朝日小学校

体育学習を楽しみ、進んで運動に取り組もうとする児童の育成

<本校の体力向上の取組みについて>

- 令和5年度の体力テストの結果では、50m走が全国の平均値より低い結果となっていた。陸上運動では、3年生～6年生の児童見つけた課題や、記録を載せた掲示物を作る。その内容を、全校へ共有し、陸上運動への意欲を高めながら全国の平均値を越えるようにする。
- 「業間運動」では、体育委員会が内容を企画・運営し、体を動かす機会を確保する。
- 「体育的行事」（体育大会・縄跳び大会等）の見直しを行い、児童の意欲がより継続できる内容に変更する。

<児童の運動習慣の育成について>

- 児童が「できた」「分かる」ということを実感させるために、児童の実態に応じた場づくりや教材・教具、学習カード、学習形態等の工夫・開発、ICT活用に努める。
- 体育学習を楽しみ、進んで運動に取り組む態度を育てるために、校内で見本となる児童の運動している姿を撮影し全体へ共有する。
- 委員会活動と連携し、運動習慣を育成させる取組みについて子どもたちが考えたことを積極的に取り組んでいく。
- はぴりゅうスポーツ広場を積極的に活用している児童を担任へ報告し、体育の授業で共有する。

<その他>

- 「休み時間」では、鉄棒やなわとびのジャンピングボードを常時設置したり、竹馬や一輪車などを使えたり、いつでも運動に取り組める環境の整備をする。
- 栄養教諭と連携を図り、定期的に食に関する指導を行う。また、お便りを通し、保護者の児童の健康への関心を高めてもらう。
- 体育大会やマラソン大会、なわとび大会では積極的に参観してもらうようにするなど魅力ある学校づくりを心がける。それらを通して、児童・保護者の運動への取り組みの意識を高める。
- 保健の学習が実生活に生かされるように授業計画を工夫する。

令和6年度 児童生徒体力づくり推進計画書（小学校用）  
～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 越前町立常磐小学校

いろいろな運動にチャレンジし、体を動かすことを好きになろう！

<本校の体力向上の取組みについて>

- 基礎的な体力や技術の向上を図るため、瞬発力を高めるダッシュ、柔軟性を高めるストレッチ運動、調整力を高める縄跳び等を取り入れていく。また巧みな動きを高めるために用具を使っての運動や遊びを取り入れる。
- 器具を使い、いろんな走り方を伝え、走る楽しさを味わわせる。また、準備運動として体幹運動や走力アップドリルなどを継続して取り入れ、敏捷性も鍛える。
- 目標をもって、一人一人が運動に積極的に取り組めるよう「めあて」「ふり返り」の時間を確保する。
- 体を動かす遊びを行い、一輪車や竹馬に取り組むよう、積極的に呼びかける。
- 業間に一輪車・竹馬に取り組ませる。達成カードを使い、達成度に応じて級が上がったことやできるようになったことが実感できるようにする。

<児童の運動習慣の育成について>

- 体育大会において、一輪車の発表を取り入れることにより、練習意欲を高める。
- 業間に、持久走・一輪車・竹馬・なわとびなどに取り組ませる。ふりかえりカードを利用し、年間を通して記録の伸びが分かるようにして意欲をもたせ、その喜びを味わわせる。
- 「はぴりゅうスポーツ広場」を活用し、運動する楽しさを味わわせる。また家庭でも取り組めるようにする。

<その他>

- 水泳の授業では、民間外部講師を活用し、児童に専門的な指導を受けさせる予定である。
- 給食時に、目の体操や歯磨きを全校一斉に取り組む。

令和6年度 児童生徒体力づくり推進計画書（小学校用）  
～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 越前町立糸生小学校

健康と体力の向上をめざし、チャレンジできる子

<本校の体力向上の取組みについて>

- ・晴天時の業間体育で5分間走を行い、個人や縦割り班ごとに目標をもたせ、持久力の向上を図る。
- ・冬季の業間体育でなわとびに取り組む。学校行事（なわとび大会）と関連させ、縦割り班ごとに、めあてを決め、目標に向かって協力しながら運動に取り組む楽しさが実感できるようにする。
- ・全校共通の準備運動に取り組み、継続的に補強運動を行うことで、体力の向上、技能の習得を図る。今年度は、本校の実態を踏まえて、身体を支持する運動に関する補強運動に取り組んでいく。

<児童の運動習慣の育成について>

- ・雨天時の業間体育で音楽に合わせてダンスやストレッチに取り組み、楽しみながら柔軟性や巧緻性などの向上を図る。
- ・体育委員会が、全校で運動に慣れ親しむことができるような企画を実施する。異学年の交流をとおして、学校全体で楽しみながら運動技能や体力の向上を図っていく。
- ・タブレット等ICTの活用に積極的に取り組む。業間体育や体育の活動だけでなく、家庭での運動の記録を、はぴりゅうスポーツ広場で活用することを促していく。

<その他>

- ・体育授業担当者が授業内容の共有を行うことで、系統的・段階的に上の学年につながるような授業づくりを進め、確かな知識と技能の定着を図る。
- ・体育大会は、子どもたちが考えた競技を実施する。学校、家庭、地域が一体となって取り組み、運動する楽しさを共有できるようなものにする。
- ・外部団体を講師として招いての水泳教室など、専門的な知識や技能にふれることができる出前授業の機会を設定する。プロの実技や指導にふれることで、運動に対する興味や関心を高め、一緒にプレーすることで、知識と技能の習得につなげていく。
- ・体育的行事の前や長期休業期間に健康に関するチェックカレンダーに取り組む。今年度からは、各家庭で設定した「わが家のメディアルール」を守ることに力を入れていく。

# 令和6年度 児童生徒体力づくり推進計画書（小学校用）

～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 越前町立宮崎小学校

## 自分の目標に向かって、主体的・継続的に運動に取り組むことができる児童

### <本校の体力向上の取組みについて>

- ・体力テストの結果をもとにして（令和5年度の課題：握力（筋力）、上体起こし（筋力・筋持久力））  
→令和5年度の結果を見ると、握力は、-2.0、上体起こしは、-5.0と全国平均よりも低い項目が見られた。2つに共通する「筋力」や「筋持久力」を高める運動を体育授業の準備運動などで取り入れていく。
- ・1000m走タイムトライアル（10月）  
→10月に1000m走タイムトライアルを行う。全学年が毎年同じ距離を走るため、前年度の自分の記録と比較して取り組むことができる。
- ・なわとび大会（2月）  
→全学年が「持久跳び」と「回数跳び」に取り組む。大会で実施する跳び方以外にも、学年に合わせた「なわとび級表カード」を活用して様々な跳び方に挑戦できるようにする。
- 全校で行う体育的行事では、共通の「がんばりカード」を活用し、個に合った目標設定や振り返りをするすることで、前回の自分の記録を少しでも伸ばそうという意欲を高めていく。
- 保護者公開も兼ねた本番の約1ヵ月前の昼休みに一斉練習の機会を設ける。ただし、教師主導の強制的な活動ではなく、運動委員会の児童が内容に様々な工夫を凝らして実施する形とする。企画側、参加する側がそれぞれ主体的に取り組むことができるようにする。

### <児童の運動習慣の育成について>

- ・「はぴりゅうスポーツ広場」の活用  
→年間を通して、休み時間や体育の授業等で活用していく。特に、梅雨の時期や冬場など屋外が使用できない期間、家庭での運動機会の確保として積極的な利用を促していく。
- ・「いつでも」、「どこでも」運動ができる環境づくり  
→竹馬や一輪車、鉄棒（屋内外）などを年間通して常設したり、本校の広い廊下を利用した縄跳び運動を認めたりすることで、児童が好きな時に自分に合った運動に取り組むことができる環境をつくる。

### <その他>

- ・生活習慣を見直す「ハッピー週間」  
→自分の生活を見直す機会として、学期に1度の「ハッピー週間」に取り組む。早寝早起きや適度な運動など、健康に過ごすための生活習慣の定着を図る。また、昨年度に全校体制で行った「メディアアバランス」に関する授業を今年度も実施し、ハッピー週間のメディアに関する項目にその内容を位置づける。

令和6年度 児童生徒体力づくり推進計画書（小学校用）  
～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 越前町立四ヶ浦小学校

めあてをもち、運動に意欲的に取り組む児童の育成を目指して

<本校の体力向上の取組みについて>

- ・ 1回15分の業間体育を週2回設けている。春から秋のマラソン大会までは持久走、マラソン大会後から冬季にはなわとびを行う。がんばりカードを取り入れ、めあてをもって取り組めるよう指導法を工夫するなど、児童が意欲的に取り組めるようにしている。
- ・ 握力の結果向上のため、4～6年生の教室に握力計を設置し、握力に触れる機会をふやす。全国平均よりも上回ることが目標である。

<児童の運動習慣の育成について>

- ・ 体育の授業にめあてをもって取り組ませ、単元を通した自分自身の成長を感じることができるよう、がんばりカードを活用している。（マラソン、なわとび、鉄棒、マット運動など）
- ・ 縦割り班での仲よし遊びを学期に1回程度設け、異学年による外遊び、室内遊びを行うことで、運動好きな児童の育成に取り組んでいる。
- ・ はぴりゅうスポーツ広場を活用し、様々な運動（遊び）に取り組める環境を整備する。

<その他>

- ・ 保健の学習では、養護教諭による生活習慣、歯科指導などを学期ごとに実施する。
- ・ 小学校6年間を通じた体育での学習を記録できるように、各学年に卒業まで持ち上がる「体育個人ファイル」を導入し、振り返り等を保管できるようにしている。

# 令和6年度 児童生徒体力づくり推進計画書（小学校用）

## ～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 越前町立城崎小学校

進んで体を動かし、体力を高め、健康な体、健康な生活を目指す

### <本校の体力向上の取組みについて>

- 準備運動に握力向上のためグーパー体操や、柔軟性の向上のため柔軟運動を取り入れる。
- 火曜・木曜の業間運動では、運営・体育委員を中心に学校の実態をもとに取り組み種目を計画する。
- 運動会や水泳授業のはじめに継続してラジオ体操を準備運動として取り入れる。
- 身に付けさせたい力を意識し、児童主体の学習となるよう、観点を明確にした話し合いや振り返りの場を設定する。

### <児童の運動習慣の育成について>

- 体育で児童が目標を持ち、意欲的に学習に取り組めるように短期的、長期的なめあての提示や振り返りを工夫する。
- 業間運動での自分の頑張りが視覚的に分かり、学習意欲が高まるカードを工夫する。
- 業間運動で習慣的に多様な動きを取り入れた活動を行い、はぴりゅうスポーツ広場で取り組み状況を入力する。

### <その他>

- 養護教諭との連携
  - ・学校保健委員会では、アンケート調査や学校医へのインタビューを踏まえて、保健学習、保健指導を実施する。
- 家庭、地域との連携
  - ・運動会で親子競技を実施し、親子で楽しみながら体を動かし、運動に親しむ。
  - ・長期休業時には、はぴりゅうスポーツ広場を活用し、家庭で運動に取り組む課題や時間を設定する。
  - ・メディアとのつきあいかた「スマートルール」を設定し、学期ごとに取り組み状況を振り返る。
  - ・地域コーディネーターの協力をいただき学校近くの海辺で磯遊びをしながら海で安全に遊んだり、泳いだりする体験を行う。
- 食育の推進
  - ・地域人材を活用し、とうふ作り体験や干物作り体験等を行い、地域の食に理解を深める。

# 令和6年度 児童生徒体力づくり推進計画書（小学校用）

～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 越前町立織田小学校

## 伸ばそう！おたっ子の力

- ①体力 業間運動で体力の向上を図る。
- ②心力 体育的行事を中心に、忍耐力や向上心を育む。
- ③協力 授業でお互いに支え合ったり、縦割り班で協力したりする中で助け合う力を養う。

### <本校の体力向上の取組みについて>

- 業間運動の内容を見直し，児童が企画した内容を実施する。  
本校児童の持久走への意欲が低いため，業間マラソンを廃止した。その代替わりとして，体育委員会が企画した活動を実施し，体力の向上につなげていく。
- 授業で運動量を確保する。  
授業時間を使って友達と関わるような活動を取り入れつつ，運動量の確保に努める。  
(鬼ごっこやリレー等)

### <児童の運動習慣の育成について>

- 週2回の業間運動を行う。  
4～10月では，体育委員会が企画した活動を実施し，楽しみながら運動に親しめるようにする。11～3月にはなわとびを行う。2月に予定されているなわとび大会に向けて，短縄や大縄を使った8の字跳びをしながら体力向上につなげていく。また，どの児童も目標を設定し，それに向かって頑張る力を養う。
- OTAタイム（昼休み）の取組  
時期を設定して体育委員が企画し，全校での鬼ごっこやリレー，縦割り班対抗のドッジボール大会を実施する等，縦割り班のつながりを深めながら体力の向上を図る。

### <その他>

- はぴりゅうスポーツ広場の普及に努める。  
休日でも家族で，運動に親しむことができるようにする。
- 体育大会での親子種目  
低・中・高学年ごとに親子競技を実施している。競技内容を児童自ら考え，体育大会本番での競技準備も児童が行っている。児童同士の協力や親子での協力といった活動が期待できる。
- 衛生的な生活を指導する。  
衛生面へ配慮や病気予防のために，換気や手洗いの効果を示すとともに手洗いやうがいの仕方を指導，徹底し病気の感染予防に努める。

令和6年度 児童生徒体力づくり推進計画書（小学校用）  
～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 越前町立萩野小学校

## 心と体の健康を意識して生活する力の育成

### <本校の体力向上の取組みについて>

- ・全校で体育ファイルを作成し、学習カードをつくり、自分の成長が見えるようにする。
- ・業間運動では、週2回マラソンや全校リレー、パワーアップ運動に取り組み、体力の維持・向上を図る。
- ・マラソンでは音楽を流すことにより、素早く行動したり意欲的に走ったりできるようにする。マラソンカードに走った分の色を塗るようにして、今までの成果を実感し、これからの意欲が高まるようにする。
- ・全校リレーでは縦割り班でチームを作り、リレーを行う。全学年で協力してゴールを目指したりタイムを縮めるための作戦を考えたりすることで、体力向上と仲間意識の高まりを目指す。
- ・業間運動時に雨天など外で活動できない時には、パワーアップ運動として、室内で柔軟やボール投げ等の苦手分野を改善する活動を行う。

### <児童の運動習慣の育成について>

- ・体育の授業では領域や内容に応じて、めあてを全体に提示したり個人で考えたりし、その達成に向かって運動することで、意欲の向上を図り、達成感をもたせる。
- ・体育的行事では、スローガンや個人目標を設定して挑戦する機会を設定し、やり遂げる喜びを味わえるようにする。また、児童が主体となって取り組めたり、自主的に参加したりできるように工夫する。
- ・大休みや昼休みの自由な時間には、外や体育館を開放し、自由遊びを推奨する。
- ・はぴりゅうスポーツ広場を活用し、家庭でも運動時間が増えるよう声かけをする。

### <その他>

- ・保健領域では適切な時期に授業を行う。授業後も食生活や睡眠時間、ゲーム時間などの生活習慣について考える機会を設け、心身ともに健康で安全な生活ができるよう支援する。（養護教諭との連携、委員会の発表等）
- ・体育的行事では、保護者や地域の方の応援や声かけが児童の励みになるよう、連携しながら取り組む。
- ・これらの活動を通して、「めあてをもって生活することができた」と答える児童が90%以上であることを目指す。